

週間漁海況情報—2018年第32号

平成30年8月21日

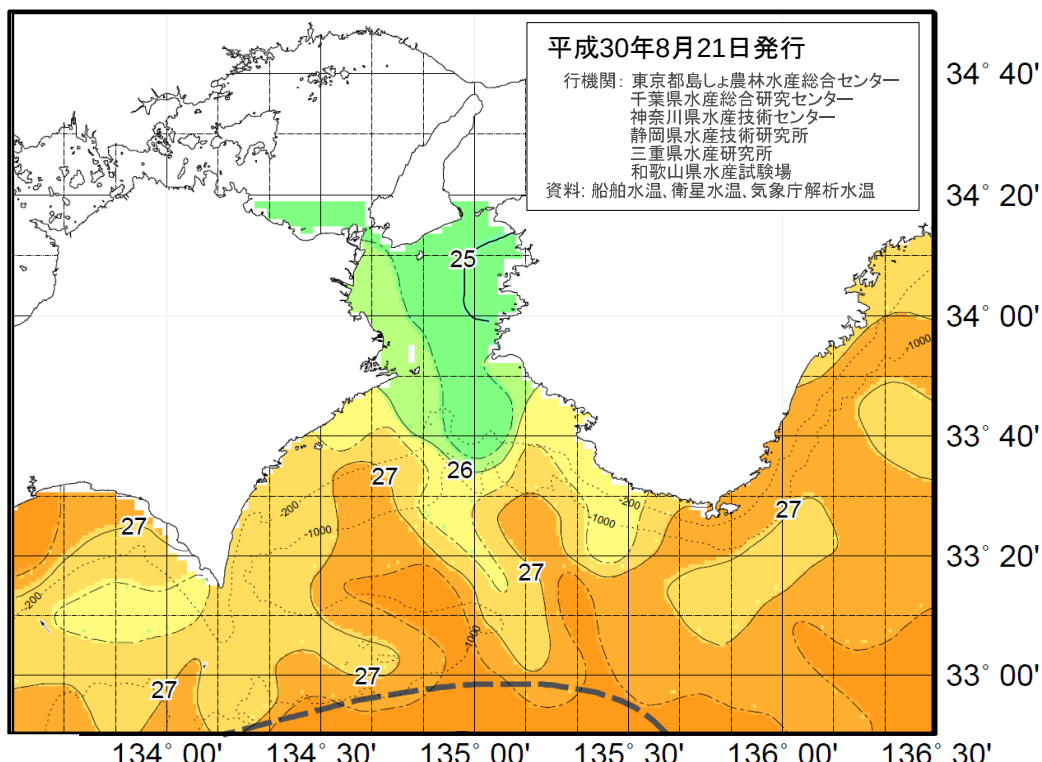
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温(8月8日～8月21日)

黒潮は、室戸岬沖では、先週に引き続き「やや離岸」で推移した。潮岬沖では「やや離岸」で推移していたが19日には南下して「離岸」となった。

21日の徳島沿岸の水温は、播磨灘、紀伊水道とも25℃台、海部沿岸で26℃台と先々週に比べ1℃～2℃程度低下した。黒潮北縁からの暖水波及が弱まり、黒潮の表面水温も27℃～28℃台と1℃～2℃低下した。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸：86NM～

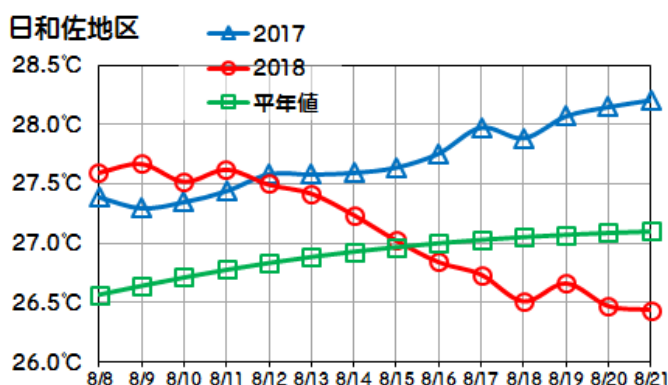
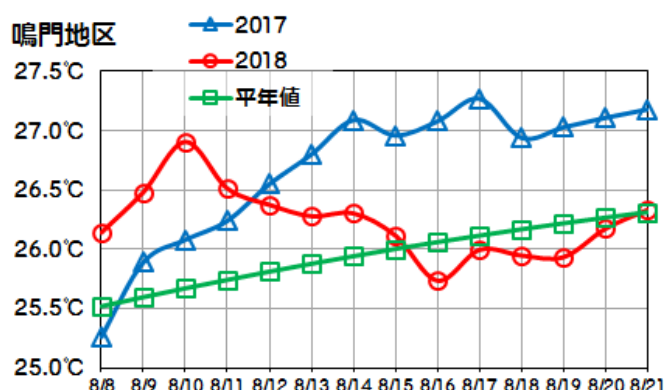
(いずれも正南方向)

海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(8月8日～8月21日)

鳴門地区の地先水温は、10日までは「やや高め」であったが、その後は下がって「平年並み」となり26.4℃～27.0℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、13日までは「やや高め」であったが、その後は「平年並み」から「やや低め」の26.4℃～27.7℃で右肩下がりで推移した。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(8月22日～8月28日)

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「やや離岸」から「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の26℃台、日和佐地区は、「やや低め」の26℃から27℃台で推移する見込み。

漁況 2018年8月6日～8月19日（旧暦6月157日～6月29日）

先週発行がなかったため、2週間分の集計をおこなった。

1. 紀伊水道（標本漁協数:3）

船びき網では、シラスが大きく増えて39.0㌧水揚げされた。

釣りでは、イサキが大きく増えて0.9㌧水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて13.5㌧、タチウオが増えて特大主体に0.6㌧水揚げされた。

小型定置網では、イサキが減って1.5㌧、マアジが増えて小小主体に1.1㌧、ヘダイが0.9㌧、カンパチが大きく増えて0.7㌧、マダイが大きく増えて0.7㌧、ボラが0.3㌧水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく増えて23.7㌧、えそ類が大きく増えて0.6㌧、マダイが0.3㌧水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協数:4）

延縄ではアカムツが大きく増えて0.5㌧、カサゴが特大主体に0.3㌧水揚げされた。

小型定置網では、マアジが減って小小主体に0.3㌧水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1㌧以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※	
					1日1隻あたり 平均漁獲量			
紀伊水道	船びき網	104	シラス	39,000	375		↗↗	
	釣り	37	イサキ	854	23		↗↗	
	延縄	105	ハモ	13,505	129	中主体	↗	
		69	タチウオ	644	9	特大主体	↗	
	小型定置網	44	イサキ	1,488	34		↘	
		38	マアジ	1,124	30	小小主体	↗	
		39	ヘダイ	941	24		↗↗	
		40	カンパチ	730	18		↗↗	
		46	マダイ	679	15		↗↗	
		22	ボラ	268	12	大主体	↗↗	
		7	ゴマサバ	166	24		↗↗	
		43	ヒラメ	142	3	小主体	↗	
		28	アイゴ	121	4		↗	
		底びき網	87	ハモ	23,690	272	中主体	↗↗
			50	えそ類	594	12		↗↗
	31		マダイ	262	8		↗↗	
	46		いとより類	174	4		↗↗	
	海部沿岸	延縄	35	アカムツ	545	16		↗↗
			11	カサゴ	272	25	特大主体	→
小型定置網		12	マアジ	260	22	小小主体	↘	
		2	カタクチイワシ	138	69		→	
		2	マイワシ	114	57		↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘